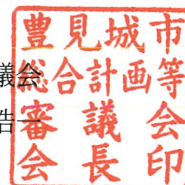




豊 総 審 第 5 号
令和 5 年 12 月 19 日

豊見城市長 徳元 次人 殿

豊見城市総合計画等審議
会長 瀬口 浩



地域再生計画事業の効果検証について（答申）

令和 5 年 10 月 23 日付け豊総企第 325 号により諮問のあった「地域再生計画事業の効果検証について」について、豊見城市総合計画等審議会規則第 2 条の規定に基づき、本審議会において慎重審議した結果、下記のとおり答申いたします。

記

1. 豊見城市総合計画等審議会において、地域再生計画「豊見城市ワク・ドキ未来プロジェクト」に関する事業の効果検証を実施した。
検証結果を別紙のとおり添付する。

令和4年度地域再生計画事業の効果検証

○事業の効果検証について

令和4年度のKPI達成率は13.9%の結果となり、地域再生計画事業の目標である「特色ある教育の推進（5年30億円の育成）で、他市町村との差別化を図り、市外保護者の移住を促進する」には途上の状況であると思われる。

本事業のみでKPIの達成が可能か疑問であるが、未来を生き抜く力を見つける人財育成を図るとみぐすくミライアカデミー、創造力や論理的思考力の向上を目的としたプログラム体験ワークショップを実施することで、保護者からこどもの非認知能力の向上が見られたと評価を受けていることは、実施事業内容等について効果があったものと思われる。

以上のことから、KPI達成の即効性は低いものの、地域再生を促進する「グローバル人財育成」の観点から地域再生に寄与できたと考えられる。

KPIの一助となるよう、寄附財源の範囲で効果的かつ効率的な事業展開及び広く周知を図ること。

また、地域創生応援税制度終了後も持続的な事業となるよう取り組むこと。